

北陸地方整備局
立山砂防事務所

資 料 配 付

配布日時 平成20年 5月23日

立山砂防事務所
「土砂災害防止月間」
の取り組みについて

記者発表資料

国土交通省では、昭和57年の長崎県豪雨災害を契機として、昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、土砂災害防止に関する国民の理解と関心を高めるための普及啓発活動を実施しています。

立山砂防事務所でも、この土砂災害防止月間の期間中に「砂防フェア2008」「砂防事業に関するパネル展示」を行います。

取扱い 本日までって解禁

配布場所
・ 県政記者クラブ
・ 業界紙（中部建設新聞社）
・ 富山シティエフエム
・ ケーブルテレビ富山
・ ケーブルテレビ NET 3

問い合わせ先
国土交通省北陸地方整備局
立山砂防事務所
調査・品質確保課長 浅井誠二
電話 076-482-1111

【砂防フェア2008】

目 的：土砂災害防止月間において、県民の土砂災害に対する防災意識の向上を図ることを目的に、土砂災害防止に関する啓発活動を展開するものである。

日 時：平成20年6月7日（土）10：00～17：00

場 所：総曲輪フェリオ グランドプラザ

参加機関：富山県・富山市・黒部河川事務所・神通川水系砂防事務所・立山砂防事務所・（財）立山カルデラ砂防博物館・NPO 法人砂防ボランティア協会

内 容：パネル展示、土石流模型実験、映像上映、サイエンスショー他

そ の 他：詳細につきましては、別添開催案内資料を参照願います。



昨年はアピアショッピングセンターで開催しました。

【砂防事業に関するパネル展示】

「平成19年度立山砂防関係工事安全管理研究発表会」受賞作品展示

日 時：平成20年5月31日（土）～6月30日（月）

9：30～17：00（入館は16：30まで）

場 所：立山カルデラ砂防博物館 2階砂防情報課前

内 容：立山砂防事務所では、平成8年12月6日に発生した蒲原沢土石流災害を教訓として、毎年、安全管理技術の向上を目的として、発注者・施工者が一同に会して安全施工に関する諸施策について発表会を開催しています。また、その発表会ではポスターセッションも行っており、特に優秀であった作品について今回、博物館を利用して紹介することとしました。立山の厳しい作業条件の下、工事を無事故で安全に施工するための諸施策（創意工夫）をより多くの皆様に見ていただければと思います。

土砂災害防止月間「砂防パネル展」

日 時：平成20年6月1日（日）～6月30日（月）10：00～17：00

場 所：グリーンビュー立山

内 容：昭和44年（1969年）に発生した集中豪雨により常願寺川流域に大きな被害をもたらした当時の記録と、今も上流域で続く砂防事業が果たす役割・効果について解説するパネル展を開催します。

そ の 他：開催期間中はパネル展のみの見学も自由となっております。

昨年の様子



「立山砂防関係工事安全管理研究発表会」
受賞作品展示 立山カルデラ砂防博物館にて



「砂防パネル展」
グリーンビュー立山にて

土砂災害防止月間イベント

砂防フェア2008

1. 日時 平成20年6月7日(土) 10:00~17:00
2. 場所 総曲輪フェリオ グランドプラザ(富山市総曲輪地内)
3. 参加機関 富山県、富山市
国土交通省黒部河川事務所
国土交通省立山砂防事務所
国土交通省神通川水系砂防事務所
財団法人立山カルデラ砂防博物館
NPO法人砂防ボランティア協会
4. 目的 近年頻発する土砂災害から人命を守るため、国土交通省では毎年6月を「土砂災害防止月間」と定めており、県民の土砂災害に対する防災意識の向上を図るため、土砂災害防止に関する啓発活動を広く展開するもの。
5. 内容
 - (1) パネル展示(近年の土砂災害など)
 - (2) 模型展示(土砂災害、地すべりなど)
 - (3) 映像上映(治水と砂防など)
 - (4) サイエンスショー(自然災害の科学実験ショー) 約30分×3回
(①11:00~11:30/②13:00~13:30/③15:30~16:00)
講師: 独立行政法人防災科学技術研究所 納口 恭明
内容: ペットボトルによる液化化現象の再現実験、
固有振動による揺れの模型実験など
 - (5) チラシ配布(砂防広報センターより)
 - (6) 立山カルデラコースおよび黒部川祖母谷コースの見学会への参加者募集
 - (7) フィールドウォッチング「飛越地震と常願寺川探訪」の参加者募集
 - (8) アンケート調査



主 催: 砂防フェア2008実行委員会
問合せ先: 富山県土木部砂防課 TEL:076-444-3342